

Human

あたたかい医療をみんなの手でー

“きみつだより”

NO.83 平成29年2月22日発行
編集責任者 大崎 慎一
編集者 “HUMAN”編集委員会

玄々堂 君津病院 〒299-1144 君津市東坂田4-7-20 ☎0439-52-2366(代) URL http://www.gengendo.jp/

新入職員 頑張っています

森 侑人 (3A病棟看護師) 3A病棟看護師として、患者さまのケアに日々取り組んでいます。初は新しい生活環境と職場に慣れることに一杯でしたが、3A病棟で働き始めて、早いもので半年以上が過ぎました。「患者さまの思いに寄り添える看護師になりたい」と思っています。当初はそんな余裕もなく、一つひとつの業務を覚えることに

入職して から早いもので半年以上が経過し、少しずつ仕事や環境にも慣れてきました。私は、総務課に所属し、主に用度業務と設備管理業務を行っています。用度業務は、事務用品や診療材料の発注や使用部署へ納品を行う等、院内の物流管理を担っています。設備管理業務は、建物設備の点検等の管理を行い、必要に応じて修理を行います。

入職当初は、診療材料の種類が多く、名称やどのように使用しているのか、又設備管理の対応もわからないので、一人では何もできずとばかり覚える日々でした。今は、先輩方からフォローして頂きながら少しずつ一人でできる業務が増え、責任の重さを感じつつ緊張感をもって業務に取り組んでいます。このように今までは与えられた業務を習熟することに専念していましたが、今後は目標を持ち、言葉遣い、電話対応、身だしなみ、挨拶等のビジネスマナーを身につけて社会人として更なる成長ができるよう努力して参ります。



住永 結香 (医療ソーシャルワーカー) 津病院に医療ソーシャルワーカーとして入社し10ヶ月が経ちました。MSWという職種をご存知でしょうか？MSWは入院・外来問わず、患者さまやご家族さまの心配事を解決するお手伝いを行っています。解決のお手伝いといっても、支援の幅は広く、例えば制度の案内や利用にあつたの支援、退院後の生活環境の調整等、様々な事をしています。

今は、制度の案内や先輩と一緒に動いてもらい退院支援等を行っています。また、ボランティアコーディネーターとして、病院ボランティアの皆さんに、より良い

必死でした。新人看護師研修制度の下で学習する看護技術や教育研修、そしてリセブタをはじめ、他の先輩ナース達の指導を頂きながら業務を覚え8月には日動業務が自立しました。「一人で丈夫かな」と不安な気持ちが膨らむばかりでしたが、患者さまと関わる時は笑顔でいようと思いがけました。そんな時一人の患者さまから「いい名前だね。それに、毎回僕の担当をしてくれて嬉しいよ」と声をかけられました。患者さまに一度の治療の妨げに入れた。患者さまに入院期間が短いにもかかわらず、私の事を覚えて



山口 舞衣 (科作業療法士) 作業療法士として入職し、早いもので10ヶ月が経過しました。先輩方の丁寧な指導により、徐々にではありますが、作業療法士としての成長を感じています。

作業療法士とは、指を動かす、食事・入浴・着替えをする等、日常生活を送る上で必要な機能の回復をサポートする職種です。例えば、麻痺の影響で箸が上手く使えず、食べこぼしてしまう方に、自助具を提供することや、適切な動作の訓練等を行います。また、痛みの緩和や、日常生活を円滑にできるように、活動をしていただけるように、計画・準備をしています。

私は学生時代の頃からMSWとして働きたいという思いがあり、入社したと右も左もわからず、入社した頃は先輩の後ろに付き、何をしているかを指指すので精一杯でした。現在でも支援をする中で、今なが必要で優先すべきかわからなかったり、言葉が足りずうまく

サービス付き高齢者向け住宅 「ウエル・ヴィレッジ君津」 4月オープン予定



計画を進めていた、サービス付き高齢者向け住宅建設工事が間もなく竣工を迎え、平成29年4月に「ウエル・ヴィレッジ君津」をオープンすることになった。

サービス付き高齢者向け住宅(以下サ高住)は、生活相談や安否確認の必須サービスのほか、身体介護・生活支援サービスなどを提供する賃貸型の高齢者住宅で、1階にクリニックを併設し、2階・3階が居住スペースとなっている。

併設の玄々堂じんくりニックスは、人工透析や通所リハビリを行い、2階・3階居住スペースは、一般的な老人ホームなどにある「長屋」の様に並び管理された施設ではなく、各個室が異なる方向を向き、様々な景色を眺めることのできるプライベート空間となつてい

場」に見立て、光庭から差し込む日差しを感じながら、食堂や談話室で入居者さま、ご家族さま、そして介護スタッフふれあえる明るい空間となっている。また、玄々堂君津病院の40年の医療経験を活かして、入居者さま一人ひとりにあつた身体介護・生活支援・食事提供などのサービスを提供できるようなっており、「医療と介護の連続」を目標として、高齢

健康まつり 参加 10月15日(土) 君津市保健福祉センターふれあい館において、健康と福祉のふれあいまつりが開催され、当院の看護師・臨床工学技士・理学療法士が参加した。ふれあいコンサートや健康標語表彰式等多くの催し物が開かれた中、看護師は千葉県看護協会による「まちの保健室」での健康相談、臨床工学技士は千葉県臨床工学技士会での血管年齢・体脂肪・筋肉量測定、理学療法士は千葉県理学療法士会での転倒予防に対する体力測定・運動指導を行った。また、玄々堂君津院友会が活動紹介もつて知っていただけでも、

糖尿病教室開催 10月22日(土) 新館大会議室において、第17回糖尿病教室が開催された。

今回は「糖尿病の合併症 動脈硬化を防ぐ」のテーマで、医師をはじめ糖尿病指導士の資格を有する看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師が講義を行った。今般は「糖尿病の合併症 動脈硬化を防ぐ」のテーマで、医師をはじめ糖尿病指導士の資格を有する看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師が講義を行った。最後に荻野副院長が「心臓・腎臓を守るための糖尿病薬出現?」について講義を行った。参加者全員熱心に聞き入り、活発な質疑応答を交わっていた。

医療安全担当者地区交流会に参加 11月18日(金) 君津中央病院において、医療安全担当者地区交流会が開催され、当院からも看護師・薬剤師・臨床工学技士・理学療法士が参加した。

千葉県看護協会君津地区部会主催の研修会で君津・木更津・富津・袖ヶ浦4市の医療機関に勤務する医師・看護師・コメディカル61名が参加し研修会が行われた。

「医療安全の推進におけるチームステップ研修を体験してみよう」というテーマで、講師に亀田総合病院の鈴木真先生をお迎えし、フレキシブルな考え方、職種間の連携とチームワークを高め、より安全な医療環境づくりを推進するための講義と演習が行われた。

新年あけましておめでとう、ご挨拶申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。玄々堂君津病院グループには今年、大きな変化が2つあります。

ひとつは、昨年から病院裏手で工事が始まっており、また玄々堂じんくりニッ

年頭の挨拶 ク、サービス付き高齢者向け住宅(ウエル・ヴィレッジ君津)リハビリ施設の開設です。玄々堂じんくりニックスは、当院の急性期医療の中心でもありますが総合腎臓病センターの4施設目のクリニックとなる新しい透析施設です。当院の総合腎臓病センターは、君津市木更津市、袖ヶ浦市、富津市にまたがる医療圏のなかでの慢性腎臓病診療、透析診療の中心施設として機能してきました。新しく完成する玄々堂じんくりニックスでも今年と同じレベルの診療を地域の患者さまに提供できるように準備を進めております。そしてこの施設は、サービス付き高齢者向け住宅(ウエル・ヴィレッジ君津)を建物の2階・3階部分に併設致します。これは地域のサービス付き高齢者向け住宅ですが、昨年からの当法人の目標でもありました。

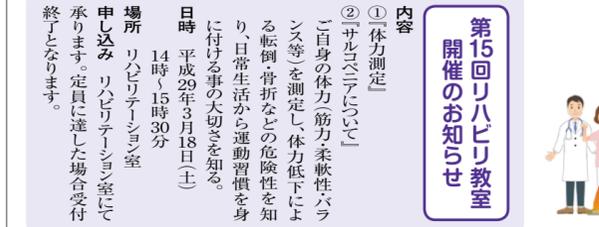
「病院から在宅に復帰するまでの医療・介護サービスの連携と充実」を旨とする1階部分に透析施設とリハビリ施設・2階・3階部分が入居する方の住居となつております。御高齢になり、このようにな住居に入居する方でも、継続して透析加療を受ける事ができ、診

療目以外には同じ施設でリハビリを受けて頂き、体力の維持に努めて頂くことができるようになりたいと考えております。地域の皆様は満足して御利用頂ける透析、住宅施設にすなわち職員一同準備しておりますので何卒よろしくお願致します。

もうひとつの大きな変化は、診療部門の拡大です。これは、地域の急性期病院として、開設以来の継続した目標ですが、地域の現状からはまだ充分とは言えない現状です。しかし、公立病院ではありませんが、地域の皆様へ提供できる医療サービスの向上に努めていきたいと考えております。皆様の御支援、御理解をよろしくお願い致します。

第15回リハビリ教室開催のお知らせ 内容 ① 体力測定 ② 「サロベテ」について ③ 自身の体力・筋力柔軟性パラメータを測定し、体力低下による転倒・骨折などの危険性を身に着ける事、日常生活に活かすこと、に付ける事、大切さを知る。

日時 平成29年3月18日(土) 14時~15時30分
場所 リハビリテーション室
申し込み リハビリテーション室で承ります。定員に達した場合受付終了となります。





副看護部長・透析統括師長 木村 純子

腎センター 便利

透析における看護師の役割について

高齢透析患者さまに優しい環境を

桜の咲く頃には、サレバ付き高齢者向け住宅「エル・ウィレッジ君」がオープンし、1階には工透析通所リハビリテーションが行える玄堂じんクリニックが併設されます。患者さまは命をつなぐために

様々な思いを抱えて透析治療を継続されています。週3回の透析治療を受けるために通院することは容易なことではありません。当院の透析室は昭和49年から血液透析を開始し、現在では若津市、木更津市、富津市、袖ヶ浦市などに在在の70名の透析患者さまが治療されています。平均年齢は68歳で、70歳以上の患者さまが5割弱通院しています。40年以上透析に通院している患者さまもいらっしゃいますが、仕事を続けながら生活の一部として治療を続け、ご自分の体調を相談し、色々



なイベントと向き合い、家族を始め、周囲の方々の協力を得て今があるのではないかと察します。患者さまの中には、通院が大変だから病院の近くへ引っ越してきた方もいらっしゃいます。ご自分で自家用車を運転して通院するのが困難になり、送迎バスを利用する患者さまも増えてきています。また高齢のためADL（日常生活動作）が低下し、一人で送迎バスに乗ることができなくなった患者さまもいます。これまでも介護が必要な患者さまの送迎の問題や、送迎バスを降りてから介助を要する患者さまの問題など、高齢透析患者さまに可能な範囲でのサービスを検討してきました。

誰かが歳を重ねるたびに生活に不自在を感じるようになってきました。高齢透析患者さまが安心して透析生活を送れるように、願いを込めたサービス付き高齢者向け住宅が完成します。リハビリテーションを取り入れて、食事を楽しみ、通院できる環境を整えることができ、少しでも透析ライフを楽しむことができれば幸いです。

平成22年12月には総合腎臓病センターが発足し、患者さまのニーズに合わせて、患者サービス、コーディネーター、腎臓リハビリテーションなど現在16チームが活動しています。

平成28年10月に機能性、利便性、安全性の向上を目的に、坂田クリニックは玄堂君津病院と統合し、「玄堂君津病院坂田透析室」と名称を変更致しました。そしてこの度、サービス付き高齢者向け住宅の1階には21床の玄堂じんクリニックを併設します。新たに透析導入する患者さまや近隣地区から紹介の透析患者さま

地域のなかで透析患者さまを受け入れて、患者さまのニーズに合わせた透析治療と看護を考えていくことが看護職としての役割でもあります。患者さまが安全に透析治療を受けられることを第一に考え、安心して透析に通院できるように受け持つ看護職が患者さまやご家族と相談して調整をしています。

当院は地域における透析治療の基幹病院と定めています。安全な透析治療の継続を目指し続けていく使命があります。当然、透析看護の質の向上も求められます。これまで当院は透析患者数が250名を超え平成5年9月に玄堂木更津クリニック50床をオープンさせ、透析患者数が400名を超えた平成10年2月に坂田クリニック50床をオープンさせました。さらに透析患者数が55名を超えた平成21年10月に病院新館に外来透析室49床と入院透析室10床を整えることができました。

平成25年から腹膜透析治療ができるようになり、現在13名の患者さまの治療環境を考慮して外来、透析室、玄堂木更津クリニックで腹膜透析外来を行っています。患者さまが在宅に退院する際には、腹膜透析治療に適した在宅環境を整備できるように自宅へ同行訪問をします。在宅透析においては、本院透析室での臨床工学技士による教育期間を得て、在宅での透析環境の整備をしています。その中で看護師は在宅透析を行う患者さまをサポートする

平成28年 学会発表等一覧

平成28年職員が全国各地で行った学会発表等です。その主要学会をご紹介します。

- 【診療部】**
 - 大和市外科医学会学術講演会
 - 特別講演：大崎慎一
 - TOKYO BAY/バスキュラーアクセス懇親会
 - 特別講演：大崎慎一
 - 第14回日本フットケア学会
 - 発表者：佐藤和弘
 - 安房地域糖尿病勉強会
 - 発表者：荻野良郎
 - 若手医師の会
 - 発表者：佐藤和弘
 - 足を守る会
 - 3月 座長：大崎慎一
 - 特別講演：佐藤和弘
 - 11月 座長：荻野良郎
 - 第61回日本透析医学会学術大会・総会
 - 発表者：大崎慎一
 - 君津木更津地域連携講演会
 - 座長：永篤薫
 - 君津内視鏡研究会
 - 座長：池田重雄
 - 君津糖尿病スキルアップ研究会
 - 座長：荻野良郎
 - 日本アクセス研究会
 - 発表者：大崎慎一
 - 臓器不全患者に対する外科・管理研究会
 - 座長：大崎慎一
 - 千葉県透析研究会
 - 座長：大崎慎一
 - 【看護部】**
 - 第14回日本フットケア学会 (2演題)
 - 発表者：石井京子・町田恵子
 - 千葉県看護協会君津地区部会
 - 発表者：榎本洋子

- 第61回日本透析医学会学術大会・総会 (2演題)
 - 発表者：榎本洋子・町田恵子
- 第22回日本腹膜透析医学会学術総会
 - 発表者：板垣由香
- 第44回千葉県透析研究会 (5演題)
 - 発表者：木村純子・板垣由香
 - 濱崎美香・佐藤西
- 【リハビリテーション科】**
 - 第14回日本フットケア学会 (2演題)
 - 発表者：森岡介・須藤貴大
- 【栄養科】**
 - 第31回日本静脈経腸栄養学会学術大会
 - 発表者：小泉美佐子
 - 第1回糖尿病と腎臓病を考える会
 - 発表者：高橋友美
 - 千葉県糖尿病懇話会
 - 講演：渡邊真紀
 - 第44回千葉県透析研究会
 - 発表者：荻野悟
 - 【放射線科】**
 - 第32回日本放射線技師学術大会 (2演題)
 - 発表者：安藤貴裕・藤原敏晴
 - 【臨床検査科】**
 - 第35回千葉県臨床検査学会
 - 発表者：唐川運輔
 - 【薬局】**
 - 第46回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会
 - シンポジスト：松井和行
 - 発表：宮沢美紀
 - 【臨床工学科】**
 - 第14回日本フットケア学会 (2演題)
 - 発表者：三浦國男・川上崇志

ご家族のケアも欠かさず行っています。これから腎不全患者さまの治療選択が患者さまの生活に適したもので、少しでも治療のイメージにつながるよう、腎臓内科外施に通院中の患者さまや、透析施設からの紹介の患者さまに、透析室でそれぞれの治療の見学や説明、患者さまの相談に乗ることができればと考えています。

腎移植は平成23年から現在まで14名の患者さまの治療を行っています。腎移植を希望する患者さまやご家族の腎移植に対する思いを聴かせていただく中で、血液透析後の体調不良など声に出されなかった患者さまの辛い気持ちに気づくことができました。申し訳なく行うことができました。

看護師は適切な治療が患者さまに提供されているのか、患者さまの生活の背景からどのような調整をしていくことが患者さまの安心につながるのかを考えていくことが必要だと思っています。



着任医師紹介

昨年9月に矢島健広医師、北岡齋医師、10月に久住映子医師が常勤医師として着任しましたのでご紹介します。

- 1 出身は？
- 2 血液型
- 3 趣味 特技
- 4 仕事のモットー
- 5 最後に一言



麻酔科 久住 映子

だと思いきや、麻酔科医の仕事のクライアアント（発注者）は外科医です。執刀医の目線でも手術が円滑に進むような麻酔環境の提供を心掛けています。患者さまの安全が保たれる限り、最大限に執刀医の意向を尊重します。結果として手術がやり易く、その症例においてベストの手術記録ができるなら、患者さまもそれが最良と考えられます。患者さま要因（全身状態悪など）により、執刀医の意向と違う提案をする時には、必ず理由を述べた上で相談させていただきます。



血管外科 北岡 齋

1 三重県
2 B型
3 料理をよくしています。庭でハーブを育てています。得意料理はビーフシチューやパイイヤーです。か？
4 外科医としては、質の高い手術治療を目指すのは当然ですが、患者さまの気持ちを考えて診療したいと思っています。

5 専門は血管外科ですが、他の外科疾患や内科疾患に関しても総合的に診療できるように努力したいと思っています。



消化器内科 矢島 健広

1 千葉県
2 B型
3 (1) 自転車に乗ります。(2) サッカーやりたいです。(3) 目標「一日一睡」
4 患者さまにも、医療スタッフにもわかりやすい診療を心がけています。

5 地域の方々へ貢献できるように、力を尽くしたいと思っています。よろしくお願ひ申し上げます。

巻き爪は治る？

フットケアナースに聞きました
看護師長 森 栄子

巻き爪でお悩みの方は意外に多いですが、巻き爪の方の殆どが爪の切り方や歩き方、足に合わない靴やスポーツでつま先を酷使したりなど、物理的原因で起きます。また生まれつき巻き爪の方もいます。巻き爪にはいくつかのタイプがありますが、巻き爪自体が問題ではなく、爪の側縁（両脇）が皮膚の軟部組織に刺さって痛みや炎症を起こし、酷くなると化膿性爪周囲炎（ひょうそ）になります。特に糖尿病の方は、傷からの感染が悪化しやすいので、注意が必要です。爪が刺さって痛いからと更に間違った爪切をすることは、治るところが悪化させてしまう場合があります。

【予防対策】
巻き爪を完全に治すことはかなり難しいのですが、巻き爪で痛みや炎症が起きないようにする事ができます。

- ①爪を切る前は、しばらく足をお湯に浸けて、爪を柔らかくする。
 - ②深爪をしない。側縁をしっかりと伸ばす。
 - ③爪を切った後は、爪ヤスリで整える。
 - ④風呂上りにワセリンや尿素配合クリームや爪用オイルなどを塗り、爪の乾燥を防ぐ。
- 爪は乾燥すると割れたり丸まりやすくなります。自分でケアできない場合は、当院のフットケア外来へご相談ください。診察後にフットケア指導士の資格を持った看護師がケアと指導をいたします。



消化器内科ってどんな処置をするの？

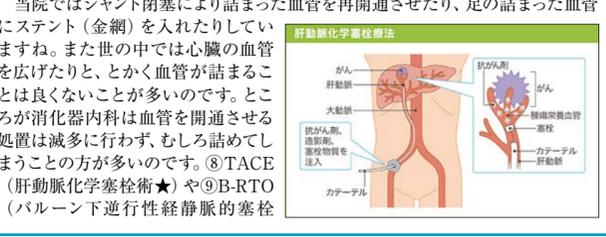
消化器内科 矢島 健広
皆さん初めまして。内科おもに消化器内科として、平成28年9月に着任しました矢島と申します。

今回は「消化器内科ってどんな処置をするの？」について、紹介したいと思います。現在行っている処置はもちろん、今後当院で実施することになるであろう処置もご紹介いたします。中でも処置名に★印がついているものは、今後新規に矢島がやることになってしょうから、外来の看護師さん達、心しておいてください。

【内視鏡的切除】
取る、すなわち切除する事または除去する事です。カメラを用いてポリープや早期の癌などを切除することが直ぐに思い浮かぶところでしょうか。幾つか例を挙げますと、切除については、①EMR（内視鏡的粘膜切除術）、②ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）、③ポリペクトミーがあります。これらは腫瘍を内視鏡を用いて切除する処置になります。EMRは大腸ポリープ切除で馴染みのある方も多く、EMRも内視鏡を用いて行うのですが、より大きく深く腫瘍を切除できる利点がありますが、様々な理由から当院では実施しておりません。また、除去するについては、④内視鏡的異物除去術（誤飲してしまった異物の除去や胃の中のアニサキスという寄生虫の除去など）、⑤内視鏡的胆管結石砕石術（カメラで胆石を取ってしまうこともできます。）などが挙げられます。喉の奥に魚の骨が引っ掛かって、どうしても取れない時にもカメラを使えば簡単に取れてしまいます。

【止血処置】
消化管出血に対する止血処置は、⑥内視鏡的消化管止血術といって、前述のポリープ切除などと同じくらい皆さんには想像しやすい処置ではないでしょうか。患者さまの状況によっては、内視鏡での処置現場はおぞましい光景になることもあります。また、止血方法も様々で、ホチキスの様な器具で出血部を挟んでしまう方法や、輪ゴムを出血部につけて、出血している血管を締め付けてしまう処置（⑦EVL★）など出血状況に応じて変化します。患者さまにとっては生死を分ける状況であり、治療する当事者にとってはスピード的的確な判断も必要です。

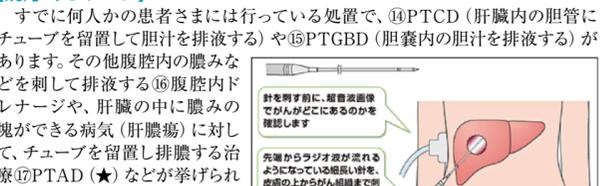
【塞栓術】
当院ではシャント閉塞により詰まった血管を再開通させたり、足の詰まった血管にステント（金網）を入れたっています。また世の中では心臓の血管を広げたりと、とかく血管が詰まることは良くないことが多いです。ところが消化器内科は血管を開通させる処置は減少に行わず、むしろ詰めてしまうことの方が多いです。⑧TACE（肝動脈化学塞栓術★）や⑨B-RTO（バルーン下逆行性経静脈的塞栓術）などが挙げられます。TACEは肝癌の治療の一つで、痛に栄養を送っている血管から抗癌剤を投与し、かつその血管の血流を遮断する事によって癌細胞を死滅に追いやる治療です。今でも当院で実施しておりますが、今後はおそらく私が行う処置となるでしょう。B-RTOの詳細はここでは省略いたしますが当院ではまず行わないでしょう。



【拡張術】
先の塞栓術とは逆の処置です。ただし血管を開通させるのではなく、本来通過すべき部位（主に消化管や胆管）が閉塞してしまった場合、その閉塞部を再開通させる内視鏡的処置です。処置名としては⑩（上下部）消化管ステント留置術★や⑪消化管バルーン拡張術★⑫消化管ブジー★などが挙げられます。例えば、食道の悪性腫瘍で食道が詰まってしまう患者さまもいらっしゃいます。このような場合に、胃カメラを用いて狭くなった患部にステントを留置することによって通りを良くする処置です。成功すれば食事にも摂れるようになります。消化管閉塞の他、胆管が病気で閉塞する方もおられます。このような場合は、⑬内視鏡的胆管ステント留置術⑭経皮経肝的胆管ドレナージ（PTCD）を用いた胆管ステント留置術などもあります。

【焼灼・ドレナージ】
すでに何人かの患者さまには行っている処置で、⑮PTCD（肝臓内の胆管にチューブを留置して胆汁を排液する）や⑯PTGBD（胆嚢内の胆汁を排液する）があります。その他腹腔内の膜などを刺して排液する⑰腹腔内ドレナージや、肝臓の中に膜の塊ができる病（肝膿瘍）に対して、チューブを留置して排膿する治療⑱PTAD（★）などが挙げられます。また、肝癌に対する治療に⑲RFA（ラジオ波焼灼術★）という治療があり、癌を焼いてしまう治療です。こちらもTACE同様当院でも実施されてきましたが、今後は私がメインになって処置することが予想されます。その他、胃カメラの先端に超音波装置（エコー）が付いていて、胃の中からその超音波を用いて患部を確認して細胞を取ったり、余分な液体成分を排液したりする検査・処置があったり、消化器内科の処置は結構多く存在します。そのすべてを今後当院で実施する予定はまだありませんが、いろいろな事情を鑑み、少しずつ実施し検査・治療として患者さまへ提供できるように前向きに考えています。これから頑張りますので、皆さんよろしくお願ひ申し上げます。

【バルーン拡張術】
バルーン拡張術とは、内視鏡を狭窄部の手前まで挿入し、内視鏡で見ながらバルーン（風船）のついた拡張機器を狭窄部にあたるように固定し、風船をふくらませることによって狭窄部を広げる方法です。



針を刺す前に、超音波装置でがんがどこにあるのかを確認します。がんからラジオ波が流れるようになっていく組織を、皮膚の上からがん組織まで刺して、ラジオ波を流してがんを焼きます。